

防災・防犯に係る検討会の結果について

西区内の15コミュニティ協議会から、防災・防犯の担当者に出席してもらい、4回に渡り議論した結果、次期西区自治協議会における地域課題として、次の事項を具体的に検討すべきとまとまったので、報告します。

<防災に係る西区全体の課題>

○自主防災組織のあり方を検討すべき

－ 視点 －

- ・組織化するためにどうするか（例えば、自主防災組織をつくることを前提に、協力いただけない地域をどうするか考える）
- ・単位自治会での組織化とコミュニティ協議会としての組織化について
- ・行政と組織、及び組織内における連絡体制のあり方

○避難場所の見直しと適正化を検討すべき

－ 視点 －

- ・学校だけに限らない避難場所の見直し
- ・コミュニティ協議会の視点と単位自治会の視点による避難場所の見直し
- ・避難場所の収容人員を考慮した適正な区域による見直し

○防災意識の啓発を検討すべき

－ 視点 －

- ・防災訓練と人材育成の手法
- ・子どもや学校を巻き込んだ意識啓発
- ・自主防災組織の必要性和価値について
- ・住宅用火災警報器の必要性

<防犯に係る西区全体の課題>

○地域住民が犯罪に遭わないための防犯活動を検討すべき

(ex. コミ協を実施主体とした西区一斉防犯パトロールデーの実施、など)

○地域住民を犯罪に走らせないための防犯活動を検討すべき

(ex. 万引き防止の巡回などをコミ協単位で実施する、など)

○防犯意識の啓発を検討すべき

(ex. 警察から来てもらい、コミ協単位で研修会・講習会を実施する、など)

平成23年3月14日

防災・防犯に係る検討会座長

梶原 宜教

同

副座長

小柳 武